

幡多の太陽

令和2年2月4日 第19号

第35回市P連研究大会(中央地区大会)より

2月1日(土)、清水中学校体育館におきまして、第35回土佐清水市PTA連合会研究発表会が開催されました。講演では、高知県教育委員会生涯学習課課長補佐の川上確也さんが「子どもの成長と生活習慣」と題しましてお話をしてくれました。また、活動報告では、下川口小学校PTAが「学校教育活動にかかわるPTA活動について」と題しまして報告をしてくださいました。講演内容を少しご紹介いたします。

(講演内容一部)

スマホ・ケータイを持たせる前に「わが家のルール」を作っておくことが大切である。買い与えた後にルールを作ろうとしても子どもの反発があり、ルール作りが難しくなる。スマホ・ケータイのルール作りとしては、次のようなことがポイントとしてあげられる。

- 1、親の名前で購入し、子どもに貸し出す形に。
- 2、ルールは買う前に、親子で一緒にルールを決める。
- 3、使用場所を決める。
 - ・子どもの部屋での使用は避ける。
 - ・充電はリビングなど 親のいる部屋で。
- 4、使用時間を決める。
- 5、書面に残す。
 - ・守れなかったときにどうするかまで決めておく。
 - ・目につくところに掲示しておく。
- 6、家族もルールを守る。
- 7、利用サービスについて決める。
- 8、使用金額について決める。

30分未満使用の子の方が全くしない子やそれ以上使用する子より学力が高いという結果が出た。自己管理ができる子は学力も高い。また、食べ物を30回以上かんで食べることで頭が良くなる、というお話もされていました。「わが家のスマホ・携帯のルール作り」はできていますか。



社会科体験・見学学習(お別れ遠足として)

2月28日(金) 雨天決行

6年生の要望により、今年度のお別れ遠足は、社会科体験・見学学習として、四万十町にある海洋堂かっぱ館、海洋堂ホビー館に行くことになりました。

汽車に乗った経験がないという児童も多くおり、汽車の乗車体験をさせたいということもあり、窪川駅より打井川駅まで、汽車に乗って移動することにしました。汽車に戸惑う児童もいるでしょうが、きっとドキドキの体験ができるのではないかと思います。また、かっぱ館では日本全国から送られてきたかっぱにまつわる作品を見たり、広場でゲームをする予定になっています。そして、ホビー館へ移動し、ジオラマづくりにチャレンジすることになっています。どんなジオラマができるかとても楽しみです。お土産としてジオラマを持って帰ると思いますので、作品を見てあげてください。このような体験・見学学習を行うことになっています。バスの時間が長くなってしまいます。車酔いが心配されますが、不安な家庭は酔い止めの薬を準備するなどしてあげてください。口に入れる薬などは学校では準備できませんので、必要な場合は各家庭で準備をお願いします。5年生がクイズなどを準備してくれています。楽しい社会科体験・見学学習になるとと思います。



かっぱ館では、どんなかっぱたちが出迎えてくれるでしょう。



いろいろな部品を組み合わせ、自分だけのジオラマを作ろう。楽しいジオラマができると思うよ。



乗り心地はどうでしょう。窓からどんな景色が見えるでしょうね。楽しみです。

下川口小PTAの報告を聞いて思ったこと

下川口小学校も本校と同様、児童数の減少に伴い、家庭数も少なくなってきているそうです。それでも、とても保護者が協力してくれ、活発なPTAの取り組みがなされているのですが、負担が大きくなってきており、取り組みを見直さなければならない時期になっているということでした。「働き方改革」の観点からもPTA活動だけでなく、学校行事についても見直さなければならなくなっています。「今までやってきているから」ではなく、目的を明確にし、内容や方法を検討していく、または、目的に合わなかったり、成果が十分に表れないものはやめていくということも必要なのかもしれません。

